

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年の年末年始は暦にも恵まれ長いお休みと雨風雪には見舞われず穏やかな輝かしい新年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

昨年一年を振り返りますと、元日に大きな地震が発生し、翌二日には羽田空港において事故が発生し、厳しい年明けでありました。

そして夏には県東部で大雨に見舞われ、県道大社日御碕線が崩落し日御碕地区が道路交通上の孤立地区となるという事態が発生しました。仮設道路の付設には土木部を中心に、その後秋以降の観光需要の回復については商工労働部を中心に迅速に対応していただいたところであります。

そして、10月末に大田市内で大きな養鶏場での鳥インフルエンザの発生という事態に見舞われましたが、農林水産部を中心に全庁を挙げて取り組んで、迅速に防疫措置を完了し、今、生産回復、再開に向けて取り組んでもらっている状況にあります。

一方で昨年は、山陰道大田中央から仁摩間が開通する整備が進んでおりますし、安来にはスマートインターの新設が決まり、出雲村田製作所が安来に工業用地を取得するという決定もなされたところであります。

それぞれ関係部を中心に県として出来ることを最大限取り組んだ成果であり、本年においても想定している課題、またこれから発生する課題もあろうかと思いますが、その発生状況に応じて何ができるか、何をなすべきかをその都度考えて部局横断的に課題解決に迅速に取り組んでいきたいと思っております。

そして、昨年来取り組んでいただいている島根創生計画、また中山間地域活性化計画の実質的な改訂作業については最終盤となっていますので、厳しい数字の状況ではありますが、人口減少また出生数の減少に歯止めをかけるための政策の強化に向けて、第2期創生計画の初年度の予算編成作業が本格化しているため、それを含めて第2期創生計画のスタートを順調にきっていくために必要な準備を皆様方で進めていただきたいと思います。

今年3月2日には、出雲インターと多伎インターの間が開通することになります。これにより、鳥取県境から石見福光まで高速道路が1本につながるようになります。これにより県東部西部の往来が円滑化されますので、出雲大社、出雲空港を経由して入っていただく県外のお客さまに県東部に回っていただくこと、また、様々な企業立地を進める上でプラスに働くことになると考えます。

このように、県政として、また国の支援をいただきながら進めてきた諸事業が進むことを活かして、県の発展に波及効果を生み出していくことについても皆さんに取り組んでいただく一年になろうかと思えます。

各部の部長、次長、また、特別職の皆さんを含めて、島根県の総力を挙げて「人口減少に打ち勝ち笑顔で暮らせる島根」の実現に向けて一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、今年一年、健康に留意していただき十分に力を発揮していただきたいと思うところであります。

今年一年の県職員の皆様方の、ご理解ご協力ご奮闘をお願い申し上げ、令和7年、仕事始めにあたっての訓示とさせていただきます。本年も一年、どうかよろしく願いいたします。